

分類	困っていること	キーワード
お金	各自独立した団体なので多忙・研修費が必要	活動の場 情報発信の場
お金	財政難	
お金	資金不足	行政からの支援 広報山形 行政は中立な対応をする必要がある 市役所職員の認知度を高めるための研修実施
お金	魚の放流の費用が不足しているためにここ2年間放流していない	
お金	安定した経営の為に公的補助金がほしい	NPOは研修費などが必要
お金	講師謝金等の経費が不足	
お金	会の運営費の捻出(一部県よりの助成有)	活動のための資金が不足する
お金	会員数が増えず財源が安定しない	
お金	文学研究会の維持資金に困っている。私たち役員の自己負担を最大限考慮し将来共に活動を継続する	安定した活動を継続するための公的支援
お金	財源の確保	
お金	要約筆記の技術向上のため、研修会を開催する財源の確保	寄付をしてくれる個人・団体が不足(寄付文化)
お金	活動資金	
お金	資金の確保	技術向上のための研修会の財源確保
お金	運営費が足りない。自閉症は育てるのに人手を多く必要とするので職員数が多く、全員を雇用すると人件費が膨大でやっていけない。	
お金	会員になって下さる方。寄付をして下さる方、団体など	行政が持っている情報を提供してほしい
場所・モノ	活動の場の提供を行政に希望します。	
場所・モノ	当会では自己啓発やインキュベート、ITに関する講座等を幅広く行う予定です。ご協力頂ければ幸いです。	情報の集積と公開
広報	全ての人がインターネットを利用できると思わないと思うので募集の窓口として以前のように市報でもスポーツ情報の提供が出来るようにしてほしい。	
情報	親業について発信する場が少ない(相手との間に心のかけ橋をかけよう)	一般社会での認知度が低い
情報	啓蒙の為に広報手段	
情報	情報の収集	人材のほとんどが社会人 メンバーを募集するための仕組み
情報	ミニ観光スポット、口コミの美味しい店などの情報がほしい。	
情報	他の団体や公的機関の相互の接点と情報を共有するための場が必要と思います。	人材のほとんどが社会人 メンバーを募集するための仕組み
情報	メンバーが県内各地に渡るためなかなか集まれず、情報の共有が難しい。	
情報	子どもへの暴力や人権について、一緒に学びあう場を設けていただきたい。	人材のほとんどが社会人 メンバーを募集するための仕組み
人材	利用会員の拡大。	
人材	スタッフの充実	人材のほとんどが社会人 メンバーを募集するための仕組み
人材	加入団体が少なくなっている事が悩み・高齢化が団体にも影響している	
人材	例会が平日のため出席できない人もいる	人材のほとんどが社会人 メンバーを募集するための仕組み
人材	メンバー不足	
人材	相談員になる方募集中	人材のほとんどが社会人 メンバーを募集するための仕組み
人材	会員増加	

人材	近年、県内外から山形五堰の視察者が多く、視察希望内容も他分野(歴史、観光、まちづくり、利水、環境など)にわたるため、案内できるスタッフが要望に応じきれず、案内できるスタッフも少ないことから対応に苦慮している。
人材	スタッフ・出演者募集
人材	身障者手帳所有者が増えていますが福祉協会への入会が少なく会員の減少になっている
人材	介護者が少ないためボランティアさんを募集しています。
人材	会員の高齢化
人材	高齢化で若い人がほしい
人材	手話通訳者の拡大
人材	受託事業の不足時ボランティアへの手伝い(不定期)でお願いしたい
人材	より多くの方に、子どもを勇気づけるエンパワメントの考えを広めたいので、一緒に活動してくれる会員を募集しています。
人材	しい。
人材	一緒に活動してくれる会員が少ないこと
人材	会員が増えないこと
人材	事務局を担うスタッフがない
人材	事務所運営に関すること
人材	・会員さんが少ないので増えてほしい。介護保険の利用者さんが少ない
人材	外出・運転のボランティアが少ない
人材	イベント時などに人手が足りない時に人手がほしい
その他	利用者が本当に少なく困っています。ケアマネージャーにお願いに行っても中立ではない。介護保険を使わなくても出来る支援を活用してほしいと思ってい
その他	会合の為のスペース及び無料駐車場
場所・モノ	定期例会の会議室スペース(山形市内で、且つ駐車場無料がのぞましい)
場所・モノ	現在借用している施設(アパート)代が高いこと
場所・モノ	子どもたちが遊べる公園が遠いこと
場所・モノ	骨髄バンクを知る集いなどを開催してほしい
場所・モノ	事務所がない
場所・モノ	集会時の会場確保
場所・モノ	活動の場所の不足
場所・モノ	例会や自主活動を行う際の場所(公民館など)の確保が早期に決定できずに困っています。
場所・モノ	ボランティアの実体験する常時使用できる施設 (etc、自動車練習コース、介護実習……)
場所・モノ	会場の手配
場所・モノ	無料)
場所・モノ	一般公開の会場確保に当たって、洋式トイレやバリアフリーの会場確保がむずかしい。
場所・モノ	打合せ場所
場所・モノ	活動分野 活動拠点
場所・モノ	デイサービスの際に送迎に利用する7.9人乗りのワゴン車が欲しい
場所・モノ	送迎車両が1台しかないこと
場所・モノ	安く綺麗に印刷できる印刷機が無く困っている
理解不足	行政等の認知層が低い
理解不足	要約筆記奉仕員の増員と要約筆記に対する一般社会での認知度が低いこと
理解不足	軽度発達障害児・者に対する一般の人々からの理解と支援を望んでいます。

会員募集が難しい
 資金難のため、事務所スペースの確保が難しく事務所を運営するためのノウハウが足りない
 車がほしい
 イベント時などの人手が足りない
 会員の拡大が難しい
 無料駐車場のある会議室スペース
 家賃が高い
 活動場所
 会場の早期確保
 ボランティアの実体験する常時使用できる施設(etc、自動車練習コース、介護実習……)
 スタッフの充実
 社会的課題を一般の市民に理解してほしい

理解不足	知的障害者(児)に理解と人として平等の立場をもっていただきたい		知的障害児への理解と平等の立場をもってほしい
理解不足	自閉症児を理解していただきたい		自閉症児への理解
連携	同じような活動の他団体と協力連携体制が出来ればいい。		
連携	他の団体や公的機関の相互の接点と情報を共有するための場が必要と思います。		他の団体や公的機関との情報共有の場が必要
連携	市内に生活学校数が増して共に運動がひろがっていくことを望みます		
連携	交流		団体同士の交流の場
連携	伐採したニセアカシヤの小枝(径5cm以下位)の始末に困っています。燃やせば簡単ですが？車は入ることができます。		
連携	NPO法人立上に向けた幅広い支援ネットワークづくり		NPO法人立上に向けた幅広い支援ネットワークづくり

共創における課題一覧

カテゴリー	課題	解決方法
活動資金の問題	設立間もないため資金力がない	
活動資金の問題	お金が足りない。	
活動資金の問題	活動資金が足りない。	
活動資金の問題	事業展開が多くなるとともにお金をどのように得るかが課題。	
活動資金の問題	会員不足で活動資金不足	
活動資金の問題	すき間の仕事で収益が得られない	
活動資金の問題	いい人材の確保にはお金が必要	
活動資金の問題	活動者の人材確保が難しい	
活動資金の問題	NPO法人の維持のために良い人材がほしいが、お金がなく、むずかしい。	
活動資金の問題	市の行財政の内容の理解不足。	
活動資金の問題	資金を集めるための事業も考えて行くべき。	
活動資金の問題	企業との連携仕事をうけたい。	
活動資金の問題(寄付金)	企業からの寄付金が受けやすくなるよう税控除してほしい	市民活動のための基金などの創設 法人市民税の減免策
活動資金の問題(税)	税の均等割の免除	
活動資金の問題(税)	税の減免	
活動資金の問題(補助金)	助成金・補助金は、ほとんど単年で完結する事業で、2年くらいのスパンでお願いしたい。	
活動資金の問題(補助金)	助成金を受ける際の申請・手続きが多く大変。	
活動資金の問題(補助金)	行政から助成金を受ける場合、領収書と引き換えとか、報告書提出後の支払ということで、お金の立替えが増える。 20万円くらいの概算払いは大いに助かる。	
活動資金の問題(補助金)	補助金の使用用途が狭い	運営費への助成制度
活動資金の問題(補助金)	補助金の内容に工夫がほしい	
仕組みの問題	助成金・補助金は、ほとんど単年で完結する事業で、2年くらいのスパンでお願いしたい。	
仕組みの問題	委託事業、NPOにまかせきりのケース。	NPOと行政の協働契約のルールづくり
仕組みの問題	現場の声をすい上げるしくみがない。	
仕組みの問題	行政が下請けNPOを作ってしまうケースがある。(他市町村)	
仕組みの問題	委託事業、NPO相手と企業相手、しくみが同じなのは変?	
仕組みの問題	県の委託で、買い物先まで指定される場合がある。	
仕組みの問題	利用料金の設定でNPOは安い(タダ)と思われる	
情報の問題	介護のための自立支援の高齢者を探して欲しい	
情報の問題	元気な健康高齢者になるための理解を深める講座を開いて欲	
情報の問題	市民の行政システムの理解不足	
情報の問題	今日のような情報を多数の人々に参加してもらうことへの活動。	
情報の問題	ボランティア要望もまだまだ情報不足だと思う。	
情報の問題	地域力を高めるような活動を得たい。	
情報の問題	利用者や市民の利用者が少ない	
情報の問題	情報に関するコピー等の規制が活動の障害になっている。	
情報の問題(広報支援)	活動の現状をどのように(内容を含めて)伝えるか。行政企業の考えが伝わらない。	
情報の問題(広報支援)	イベントへの参加者が少ない(人寄せパンダが必要か)。	
情報の問題(広報支援)	市民・行政・企業へのPR不足。	
情報の問題(広報支援)	活動内容のPRの方法が難しい	
情報の問題(広報支援)	講座に人が集まらない	

共創における課題一覧

カテゴリー	課題	解決方法
情報の問題 (広報支援)	一般市民へ関心をもってもらうため、アピールをしていく必要あり。	
情報の問題 (広報支援)	活動内容への理解が薄い	
情報の問題 (広報支援)	市民のボランティアに対する理解不足	
情報の問題 (広報支援)	ドナー登録者数をもっと増えてほしい。	
情報の問題 (情報公開)	協働・委託・助成金などの情報がなかなか入らない。入っても締切までの機関が短く、申請できない。	
情報の問題 (情報公開)	自分たちの団体と同じような活動をしている他の団体の情報が入らない。大きく分けてどこかに情報がまとめられていれば良い	
情報の問題 (情報公開)	市内でどんな団体が活動している知る機会がない。	
情報の問題 (情報公開)	協働する場合、行政側がどんな団体にどんな事業を求めているのかよくわからない。	
情報の問題 (情報公開)	施設の空き状況をリスト化する必要がある	電子化予定
情報の問題 (情報公開)	行政単位の公的建物の使用について集合窓口があればいい	電子化予定
情報の問題 (情報公開)	山形市近隣市町村を含む活動の場の状況がわからない。	
情報の問題 (情報公開)	NPOを維持していくための情報を行政より密にしてほしい。	
情報の問題 (情報公開)	小さな集団の市民活動なので行政と協働できる部分があるのか不明。	
情報の問題 (情報公開)	市民が行政のしくみを知らない。	
人材の問題	契約に値する法人力があるかどうか	
人材の問題	健康老人をつくるための支援方法を業者にもしてほしい	
人材の問題	全時間の仕事をしている人・パートをしている人と会員の背景も様々で、スケジュールの調整や会の持ち方にも課題がある。	
人材の問題 (人材育成)	市でも事業所に対して講座を開いて欲しい	
人材の問題 (人材育成)	いくつになっても第一線を望む人が多い。 若い人を育てにくい環境にある。	
人材の問題 (人材育成)	案内可能な人材を教育し、質的向上を行う必要がある。	
人材の問題 (人材育成)	経営マインド&事務遂行管理のスキルが不足している	
人材の問題 (人材育成)	NPOをとることによる事務量で本来の仕事ができなくなる。(福祉作業所等)恐れあり。	
人材の問題 (人材募集)	活動をやめてしまう人が増えてNPOが継続しない。	
人材の問題 (人材募集)	ボランティアの参加者で活動時のドタキャンが多い	
人材の問題 (人材募集)	メンバーが足りない(実働部隊)	
人材の問題 (人材募集)	メンバーの固定化は活動の固定化	
人材の問題 (人材募集)	人材の育成(会員の固定)新しいメンバーの確保がなかなか出来にくい。	
場・モノ	活動する場所の確保	

共創における課題一覧

カテゴリー	課題	解決方法
場・モノ	活動を知ってもらうための普及の場(講演・イベント)などが少な	
場・モノ	活動の場を一定のエリアを確保したい。公民館等	市が所有する遊休施設の有効活用
理解不足(企業)	企業とのコミュニケーションが取りにくい。	
理解不足(市民)	ボランティア活動とは必ずしも無償行為ではない。	
理解不足(市民)	社会の理解度が低い。	
理解不足(市民)	こんなに幅広く、活動に対して受け入れやすいのに、市民からみたらNPOの言葉が固い。	
理解不足(市民)	市民側、言いっ放して、無責任の人も。	
理解不足(市民)	NPOに関する一般的認知度不足	
理解不足(市民)	契約に値する法人の信用力があるかどうか	信用力の向上
理解不足(市民)	NPO法人に対する市民の誤解(もうけては悪い、ボランティア)を解く必要がある。	
理解不足(市民)	「NPO＝非営利」とされているので、「利益のいらないボランティア」のように誤解されている。	
理解不足(市民)	一般の人たちには、まだ、NPOを知らない人が多く理解不足。	
理解不足(市民)	市民・行政・企業の認識が不足している。	
理解不足(市民)	市民のボランティアに対する理解不足	
理解不足(市民)	利用料金の設定でNPOは安い(タダ)と思われる	
理解不足(職員)	契約に値する法人の信用力があるかどうか	評価制度の構築
理解不足(職員)	協働の方法について市側であまり意識していない。	NPOと行政の協働契約のルールづくり
理解不足(職員)	対等な立場になりにくい。	NPOと行政の協働契約のルールづくり
理解不足(職員)	NPOの方が市より専門知識があるとイヤがる人がいる。	
理解不足(職員)	行政の言葉がわかりにくい。	
理解不足(職員)	事業ごとに、収益性や受益者負担が可能かどうかは違う。予算に反映していない。事業を見る目がない。	
理解不足(職員)	行政職員がNPOを知らない。	職員研修の充実
理解不足(職員)	行政側に有利な形で委託契約が結ばれる。	委託する事業の中に「人件費的部分」を配慮する(期間限定を含む)
理解不足(職員)	現場の声をすい上げるしくみがない。	
理解不足(職員)	行政とNPOのコミュニケーションが不足している。	行政ときちんとした話し合いの場を設ける。
理解不足(職員)	行政の人とNPOの人が一緒に議論する場が少ない。	
理解不足(職員)	県では、職員の理解が広がっているが、市では広がりがまだ無	
理解不足(職員)	「NPO＝非営利」とされているので、「利益のいらないボランティア」のように誤解されている。	
理解不足(職員)	市町村によって理解度が違う	
理解不足(職員)	行政は、「NPOを使えば安くあがる」という意識が強い。	
理解不足(職員)	行政職員のNPOへの理解不足	
理解不足(職員)	行政と協働する場合に対等の立場にない	
連携	NPO法人を立ち上げているものの中で情報交換する必要あ	
連携	活動に関する行政の窓口が多岐に渡るため、行政との連携が取りにくい。	
連携	小・中・高の学校との連携・子ども会との連携をどうするか？	
連携	教育現場での普及活動で、一つの学校で普及しても、継続性、他校への広がりが少ない。	
連携	学校同士の横のつながりが少ない。学校での行事で、ボランティアの話をしたとしても、他の学校にはつながらない。	
連携	官・学・民の連携が必要	
連携	商店街の協調があればいい	

共創における課題一覧

カテゴリー	課題	解決方法
その他	自分達の企画が、どこかの企業と連携できるものがあるのか、それを探して一致した場合は、企画の売込みをする。	
その他	NPO法人の定義が確立していない。	
その他	会員同士の交流がしにくくなってきた。	
その他	補助金・助成金をもらう場合は、まず申請、そして何よりも地道な活動と思う。	
その他	福祉輸送サービスのための市の運用会議の資料を少なくして	
その他	街づくりの具体的な試案を一教授に委託するのは良くない	
その他	都市部と周辺部の地域観の違い。	コミュニティを維持する必要性
その他	地縁組織の形骸化とNPOの関係はいずれ問題になってくる？ (違いを明確化)	
その他	地域活動(ボランティア・NPO・コミュニティビジネス)が分離しないような仕組みのくくりとして、「地域力」のような規定が必要。	
その他		行政の内部によくある審議会方式から脱却した「外部専門家アドバイザリーボード」を設置し、NPO法人の支援を担当してもらう。